

○12月18日(火) 石井康二さんによる講演会

全校生徒を対象に講演会を実施しました。講師の石井康二さんは高校3年生の時に事故で脊椎を損傷し、下肢が使えない状態になってしまったそうです。高校は退学したもののその後障害者スポーツと出会い、車椅子バスケットボール・パラセーリングの日本代表を経て現在は車椅子ソフトボールの日本代表選手兼監督を務めています。

障害者となった自分をどう受け入れたのか、高校を辞めたことに悔いはないのか、なぜ多岐にわたる種目に挑戦するのか、車椅子ソフトボールの魅力と監督としての役割等、未来のある若者たちにできること、自分らしく生きることやスポーツの可能性について等、盛りだくさんのお話をしてくださいました。

実際に石井さんが利用されている車椅子に希望する生徒が乗せてもらいました。どのような場面が困るのか、どのようなサポートができるのかを解説していただいたので、障害者だけでなくお年寄りや怪我をしている人等への自然な声掛けができるようになると思います。

また、競技用の車椅子と車椅子ソフトボールで使われているボールも持って来ていただいたので、こちらも希望生徒がトスバッティングの体験をすることができました。最後には石井さんにもバッティングを披露していただき、元世界大会MVPのパワーを目の当たりにしました。

～生徒の感想文より～

- ・スポーツに限らず検定など難易度が高いものでもチャレンジしていきたいと思いました。
- ・車椅子に乗っている人で段差などで困っていたら、自分から助けたいと思います。
- ・自分に素直に強く明るく生きようと思わせる講演会でした。
- ・今回の講演で車椅子競技を見てみたいと思ったので、東京パラリンピックも見てみたいと思いました。
- ・石井さんからいただいた言葉に本当に感動してグッときたし人生が変わりました。



石井さんの明るくポジティブなエネルギーは多くの生徒に勇気と希望を与えてくださいました。